

2018～2019 年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

下記の研究に用いるため、皆様の情報を利用させていただきますので、お知らせいたします。

研究課題名： 血中テストステロン濃度と外的要因との関連解析

研究の目的

近年男性ホルモン濃度の低下は腸内細菌叢の多様性を損なう可能性があるという報告されています。男性ホルモンの1種であるテストステロンは、食習慣、運動、喫煙、睡眠などによっても影響を受けることが報告されています。

健康状態と関連するテストステロンに与える様々な外的要因を検討し、テストステロンと腸内細菌または食習慣との関連を調査します。

研究実施期間： 2023年 9月 5日 ～ 2024年 3月 31日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2018～2019年の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

以下の情報を研究責任者である久田貴義の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2018-012, 2019-009）」において2018・2019年に取得された以下のデータ

- 個人記録票（性別,年齢,身長,体重）
- 健康調査票（既往歴,現病歴,薬物服用状況,生活習慣（喫煙,飲酒,運動,睡眠,食習慣））
- 食事調査(BDHQ：簡易型自記式食事歴法質問票)
- 血液検査（テストステロン,遊離テストステロン）
- 腸内細菌叢（リード数,比率）

具体的には,AI・機械学習ソフトを用いて,血中テストステロン濃度に対して様々な外的要因（腸内細菌割合,食習慣,運動,喫煙,睡眠など）から複数の予測モデルを作り,血中テストステロン濃度と腸内細菌割合または食習慣との関連に着目し解析を行います。

なお,本研究で利用する情報は,先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：-2018-012, 2019-009）」で収集し,加工（氏名,住所および生年月日と切り離し,照合のための符号・番号を付与）され,岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については,学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが,その内容から対

象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

本課題の資金源は、フローラ健康科学講座(株式会社テクノスルガ・ラボが出資する共同研究講座)の研究費用です。株式会社テクノスルガ・ラボの研究員が解析を担うため、利益相反が生じる可能性があります。この研究の利害関係については、弘前大学及び株式会社テクノスルガ・ラボで責任をもって管理いたします。

研究への利用に同意いただけない場合には、「**情報利用提供停止願**い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外させていただきます。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

本件連絡先	株式会社テクノスルガ・ラボ 久田貴義 住所 〒424-0065 静岡市清水区長崎 388 番地の 1 電話 054-349-6211 Email th_1005@ tecsrcg.co.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康未来イノベーションセンター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205